数名に声をかけたところ、すぐにY君が参加を表明してくれました。我々が渡米する6日前にオーランド・ディズニーワールドの家族旅行から戻って来るという無茶なスケジュールにもかかわらず（笑）。

何はともあれ、私とY君はロサンゼルス国際空港のレンタカー屋の手違いでアップグレードされたマセラティを駆って、一気に南下しサンディエゴへ。そしてなんとツイていることか、その日のドジャースの先発投手は山本由伸で、それと大谷が見られるだけでも最高だったのですが、9回にパドレスの投手が松井裕樹に代わり、その代わりばなに松井から大谷がホームランをかっ飛ばすという奇跡。

そしてその翌日は、ロサンゼルスに戻りドジャースタジアムへ。すると韓国のBTSのVというアイドルが始球式をやるとかで女性たちの黄色い歓声がスタジアム内にけたたましく響くなか、事務所からの電話の着信があり、何かと思って出てみると「顧問先に税務署の無予告調査が入ったから対応をして欲しい」とのこと。「まったくよりによって、なんというタイミングで税務調査に入ってくれるのよ」と絶望しながら、いったんスタジアムの外に出て、そこからしばらく調査官や社長と電話していたら既に試合は始まっていて、すごく損をした気分。前から思っていたのだけど、まったくツキというやつは、良くも悪くも50・50になるように上手くできているものなのですね。

こんな風に出発前から色々あった今回の野球旅だったのですが、あらためて考えてみると、この旅は実に様々な示唆に富んでいるように思えます。たまたま見たスポーツにハマるもハマらないも、旅に行くも行かぬも、行った旅先で起きた出来事を楽しむも楽しまないも、その人の主観（感受性）と許容力次第でどっちにも転がりうるということ。そして、幸せとか満足感とかを得ようと思った時には、「得ること」だけでなく「手放すこと」も必要であるということ。それが分かっているだけに、スマートに淡々と偉業を達成し続けている大谷さんを見ていると、税務調査の連絡があったくらいのことでオタオタしている自分の器の小ささに悲しくなってしまうのですが、そもそも伝説のユニコーンと凡人を比較すること自体無理があるので、気にしないことにしておきます。

Akira Saito

昭和40年生まれ。神奈川県出身。平成15年税理士登録（東京税理士会京橋支部）。齋藤明税理士事務所所長・日本税務会計学会経営部門常任委員・医療法人研水会監事。ブログは「波乗り税理士・波に乗れるか？」http://blog.livedoor.jp/saiaki555/

【近況】季節も良くなりたまにはバイクで遠出をしたいのですが、ヘルメットをもって支度をしていると愛犬の太郎が「俺を置いて出かける気か？」と切ない声で泣くものだから、いつも出かけるに出かけられません。